

平成23年度財団法人紀南環境整備公社
第3回理事会・第2回評議員会合同会議
(平成24年3月29日(木)開催)

議事録

財団法人紀南環境整備公社

**平成23年度財団法人紀南環境整備公社
第3回理事会第2回評議員会合同会議議事録**

- 1 開催の日時
平成24年3月29日（木） 午前10時30分
- 2 開催の場所
田辺市朝日ヶ丘23-1
西牟婁総合庁舎 4階 大会議室
- 3 出席者
別紙出席者名簿のとおり
- 4 議案
第8号議案 平成24年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について
第9号議案 平成24年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について
第10号議案 任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社役員の選任について
- 5 開会
事務局が、会議の開会を宣言した。

（開会挨拶）

真砂理事長が「役員及び評議員の皆様におかれましては、年度末で何かとお忙しい中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

本日の理事会・評議員会合同会議は、平成24年度の事業計画及び収支予算及び役員の選任についてご審議いただくため開催したものでございますのでよろしくお願い申し上げます。

皆様ご承知のとおり、公社事業につきましては、昨年5月に理事会を開催し、最終候補地を「田辺市稲成地区」に選定させていただき、現在は、次のステップであります「現地詳細調査」の実施に向け、地元住民の皆様方のご理解を得るための取り組みを行っているところでありますが、地域として一定の方向性をまとめられる状況には至っておりません。

地元住民のほとんどの方は、最終処分場の必要性について、ご理解いただいておりますが、最終処分場建設に対し、地震や集中豪雨に対する施設の安全性、特に想定外の災害に対する不安、環境悪化に対する不安を持たれている方もいらっしゃいます。現在は、こうした不安を払拭するための説明や話し合いを重ねているところであります。

今後も、公社の最終処分場が安全・安心な施設であること、また、当地方における施設の必要性を住民の皆様にご誠意をもって説明し、できるだけ早い時期に公社事業に対するご理解を得る事ができますよう努力して参りたいと考えています。

公社といたしましては、まだまだ厳しい局面が続くこととなりますが、「安全・安心な施設の整備」を目指し、構成団体一丸となって取り組んで参りたいと思いますので、役員並びに評議員の皆様におかれましては、より一層のご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます」と開会挨拶を行った。

(新任理事・評議員紹介)

事務局が、出席者についての説明を行い、その中でみなべ町の小谷町長が評議員から理事に就任し、牟婁商工会の平会長代行が新たに評議員に就任した旨を説明した。平評議員が「黒田会長に引き続き評議員の任に就く事になりました。どうぞよろしくお願いします。」と就任挨拶を行った。

(議長就任)

事務局が、議長選出について、理事長に議長就任を依頼したい旨提案したところ、全員異議がなかったため、理事長が議長に就任した。

(代理出席者の承認)

議長が、代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(委任の報告)

議長が、欠席者の表決の委任について、報告した。

(会議の成立)

議長が、出席者数の確認をしたところ、出席者は定足数を満たしていたので、会議の成立を宣言した。

(議事録署名人選任)

議長が、議事録署名人の選任について提案し、議長から指名することについて諮ったところ、全員異議なく、理事会からは小谷理事、寺本理事が、評議員会からは朝本評議員、花本評議員が選任された。

6 議事

(第8号議案及び第9号議案の審議)

議長が、第8号議案及び第9号議案は、関連議案なので、一括して審議する旨を述べ、議長の指示により、事務局が、両議案の詳細を一括して説明した。

次に、議長が、理事、評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第8号議案及び第9号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

(第10号議案の審議)

事務局から第10号議案について説明を行った。

次に、議長が、評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第10号議案について、議長が、評議員に諮ったところ、全会一致で可決、承認された。その後、保田理事の代理として米田新理事が出席されている事を紹介し、米田新理事が「当該整備事業につきましては、県といたしましても最大限のご支援、ご協力を引き続き行って参りたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いします。」と就任挨拶を行った。

(理事長・副理事長の選任について)

事務局から、理事長・副理事長の選任は、理事による互選となっているため、4

月1日付で書面による表決をお願いする旨を提案した。
その後、議長が理事に諮り、承認された。

7 その他（質疑応答）

花本評議員「津波があつたらどうなるかわからないという地元の方の懸念があるそうですけども、津波が起きた場合、公社側としても懸念はあるのでしょうか？」

事務局「今、公社が選定させていただいております稲成地区については、計画の中では津波の影響はないと認識しております。昨年の東北大震災の影響を考慮した当地方のシミュレーションの見直しができておりませんが、東北であつた津波の高さはクリアしておりますので、その心配はないと認識しております。」

8 閉会

議長が、本日の議事をすべて終了した旨を述べ、事務局が閉会を宣言した。

午前10時55分

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成24年3月29日

議長	真砂亮敏	
署名人	寺本真一	
署名人	小谷芳正	
署名人	花本健	
署名人	朝本記夫	

平成23年度第3回理事会・第2回評議員会合同会議出席者名簿

●役員

- 理事現在数9名
- 出席理事数8名（うち代理出席者2名）
- 表決を委任した理事数1名

役名	氏名	役職名	代理出席者等
理事長	真砂 充敏	田辺市長	
副理事長	田岡 実千年	新宮市長	生活環境課長 中地 清剛
副理事長	橘 一郎	田辺商工会議所会頭	
理事	小谷 芳正	みなべ町長	
理事	田嶋 勝正	串本町長	欠席（表決を真砂理事長に委任）
理事	寺本 眞一	那智勝浦町長	
理事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	
理事	森田 敏行	日置川町商工会会長	
理事	保田 栄一	和歌山県環境生活部長	環境政策局長 米田 和一
監事	小出 隆道	上富田町長	
監事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	専務理事代行 奥村 建二

●評議員

- 評議員現在数17名
- 出席評議員数13名（うち代理出席者3名）
- 表決を委任した評議員数4名

氏名	役職名	代理出席者等
朝本 紀夫	すさみ町商工会会長	
泉 庄治	本宮町商工会会長	
岩田 勉	すさみ町長	
岩手 仁士	龍神村商工会会長	
植田 英明	みなべ町商工会会長	欠席（表決を岩手評議員に委任）
大和田 隆栄	北山村商工会会長	
岡本 重之	白浜町商工会会長	
奥田 貢	北山村長	住民福祉課長 柳原 幸則
小原 周作	古座川町商工会会長	欠席（表決を大和田評議員に委任）
三軒 一高	太地町長	副町長 漁野 伸一
須賀 節夫	串本町商工会会長	
平 崇	牟婁商工会会長代行	
武田 丈夫	古座川町長	住民福祉課長 仲本 耕士
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	欠席（表決を花本評議員に委任）
花本 健	大塔村商工会会長	
水本 雄三	白浜町長	欠席（表決を岡本評議員に委任）

平成23年度
第3回理事会・第2回評議員会
合同会議

議案書

平成24年3月29日（木）
財団法人紀南環境整備公社

目 次

第 8 号議案 平成 2 4 年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について	1
第 9 号議案 平成 2 4 年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について	3
第 1 0 号議案 任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社役員の選任について	5

第8号議案

平成24年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について

平成24年度財団法人紀南環境整備公社事業計画については、次のとおりとする。

平成24年3月29日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充敏

平成24年度事業計画

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

1 基本方針

財団法人紀南環境整備公社（以下「公社」という。）は、紀南地域が一般廃棄物、産業廃棄物ともに最終処分機能が不足していることを鑑み、その早期解決を図るため、地域内の行政機関及び産業界により設立された団体であり、その使命を果たすため種々の取り組みを進めている。

地域内の廃棄物処理の状況を見ると、公社設立以前に比べ一般廃棄物、産業廃棄物ともに最終処分量は減少傾向にあるものの、依然として県外処理に依存している状況に変わりなく、また、地域内に残るいくつかの最終処分場についても、埋立完了時期が近づいている。

公社は、平成17年度から地域内に一般廃棄物、産業廃棄物を適正に処分出来る広域最終処分場の整備事業に取り組み、平成18年度には3地区5箇所の候補地を選定、平成21年度に全ての地区で調査同意が得られたことを受け、最終候補地を選定するための「最終処分場候補地選定調査」を実施した。平成23年5月、その調査結果を基に最終候補地を「田辺市稲成地区」に選定し、地元自治体等と連携しながら、現地詳細調査に対する地元住民の同意を得るための取り組みをおこなっている。

最終候補地の決定に際しては、環境への十分な配慮や万全な防災対策を講じた「安全・安心な施設」の建設に向け、地元住民や関係団体等との合意形成を果たした上で事業を推進することを基本方針とし、平成24年度は、引き続き、調査同意取得のための取り組みを進め、できるだけ早い段階で現地詳細調査に着手することを目標とする。

2 事業計画

(1) 広域廃棄物最終処分場整備事業

地元自治体等と十分連携しながら、地元住民や関係団体等に調査同意取得に向けた説明などの取り組みを引き続き実施する。

調査同意が得られ次第、現地詳細調査に着手する。

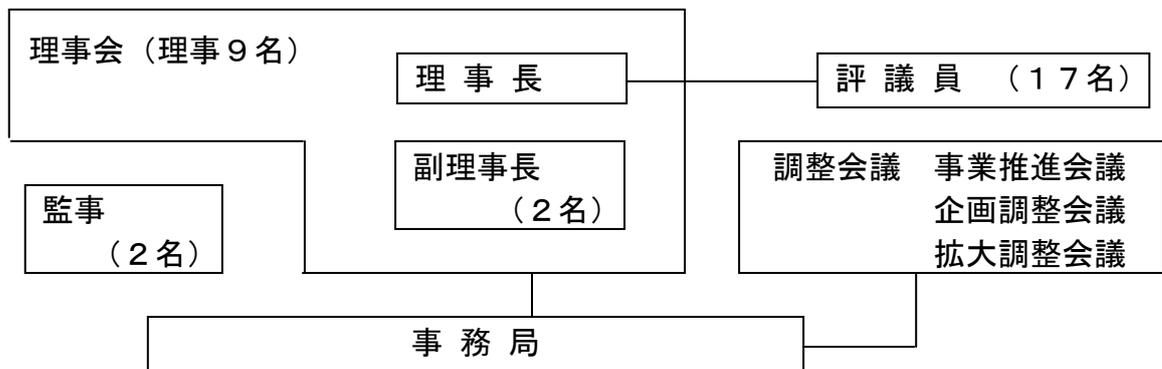
(2) 循環型社会構築に係る普及啓発事業

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会答申「紀南地域の廃棄物処理に係る適正処理方針」の達成を目指し、市町村、事業者と連携しながら必要な事業を実施する。

- ① 公社事業 PR 用 DVD 及びリーフレットを活用した住民学習会等の開催
- ② ホームページによる各種情報の発信
- ③ 各種団体や業界関係団体等との意見交換会の開催

3 組織

財団法人紀南環境整備公社組織機構



第9号議案

平成24年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について

平成24年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算については、次のとおりとする。

平成24年3月29日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真 砂 充 敏

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	64	211	△ 147	
② 補助金等収入				
県補助金収入	1,980	2,250	△ 270	
市町村補助金収入	32,617	20,636	11,981	
市町村業務受託収入	0	0	0	
③ 雑収入				
受取利息収入	1	8	△ 7	
雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	34,663	23,106	11,557	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	3,734	3,085	649	
普及啓発事業費支出	424	1,682	△ 1,258	リーフレット
給料手当支出	14,254	8,479	5,775	派遣職員6名分
法定福利費支出	6,238	5,741	497	派遣職員6名分
福利厚生費支出	92	94	△ 2	
旅費交通費支出	850	1,000	△ 150	
リース料支出	420	420	0	
消耗什器備品費支出	100	0	100	
消耗品費支出	50	50	0	
車両維持費支出	600	553	47	
雑支出	20	20	0	
事業費支出計	26,782	21,124	5,658	
② 管理費支出				
給料手当支出	2,235	2,387	△ 152	派遣職員2名分
法定福利費支出	2,910	3,088	△ 178	派遣職員2名分
福利厚生費支出	25	25	0	
会議費支出	92	204	△ 112	
旅費交通費支出	550	780	△ 230	
通信運搬費支出	150	153	△ 3	
消耗什器備品費支出	600	100	500	
消耗品費支出	100	87	13	
印刷製本費支出	540	366	174	
図書研修費支出	85	111	△ 26	
車両維持費支出	85	80	5	
光熱水料費支出	10	10	0	
委託料支出	89	0	89	
賃借料支出	460	343	117	
支払手数料支出	75	72	3	
租税公課支出	4	4	0	
支払利息支出	1	1	0	
雑支出	1	1	0	

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費支出計	8,012	7,812	200	
事業活動支出計	34,794	28,936	5,858	
事業活動収支差額	△ 131	△ 5,830	5,699	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	28	72	△ 44	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1	1	0	
投資活動支出計	29	73	△ 44	
投資活動収支差額	△ 29	△ 73	44	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1	1	0	
財務活動収入計	1	1	0	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1	1	0	
財務活動支出計	1	1	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	500	500	0	
当期収支差額	△ 660	△ 6,403	5,743	
前期繰越収支差額	4,439	7,416	△ 2,977	
次期繰越収支差額	3,779	1,013	2,766	

(注) 1. 短期借入金の最高限度額 2,500,000円

2. 次年度以降の債務負担額 0円

第10号議案

任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社役員の選任について

財団法人紀南環境整備公社寄附行為第19条第1項の規定に基づき、任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社の役員を次のとおり選任する。

なお、就任の時期については、平成24年4月1日とし、任期は平成26年3月31日までとする。

平成24年3月29日提出

財団法人紀南環境整備公社

理事長 真砂 充 敏

役名	氏名	役職名	備考
理事	小谷 芳正	みなべ町長	重任
理事	田岡 実千年	新宮市長	重任
理事	田嶋 勝正	串本町長	重任
理事	橋 一郎	田辺商工会議所会頭	重任
理事	寺本 眞一	那智勝浦町長	重任
理事	真砂 充敏	田辺市長	重任
理事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	重任
理事	森田 敏行	日置川町商工会会長	重任
理事	米田 和一	和歌山県環境生活部長	新任
監事	小出 隆道	上富田町長	重任
監事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	重任